

**製品名: MECP2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81579**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	52.4kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MECP2
別名	RS; RTS; RTT; PPMX; MRX16; MRX79; MRXSL; AUTSX3; MRXS13
遺伝子 ID	4204.0
SwissProt ID	P51608
免疫原	大腸菌で発現したヒト MECP2 (AA: 7-148) の精製された組み換え断片。

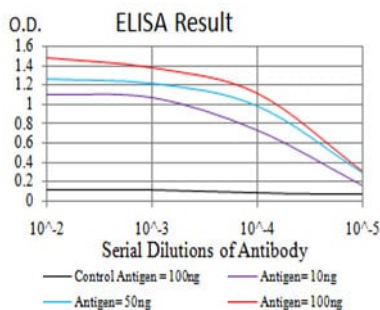
**背景**

DNA のメチル化は真核生物ゲノムの主要な修飾であり、哺乳類の発生に重要な役割を果たしています。ヒトタンパク質 MECP2、MBD1、MBD2、MBD3、および MBD4 は、それぞれにメチル CpG 結合ドメイン (MBD) が存在することで関連付けられ

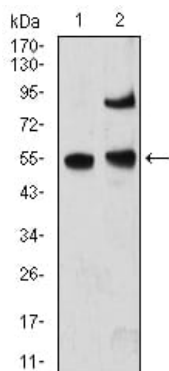
た核タンパク質ファミリーを構成します。これらのタンパク質は、MBD3を除いてそれぞれがメチル化DNAに特異的に結合することができます。MECP2、MBD1、およびMBD2は、メチル化された遺伝子プロモーターからの転写を抑制することもできます。他のMBDファミリーメンバーとは対照的に、MECP2はX連鎖性であり、X不活性化の対象です。MECP2は幹細胞には不要ですが、胚発生には不可欠です。MECP2遺伝子の変異は、進行性神経発達障害であり、女性の精神遅滞の最も一般的な原因の1つであるレット症候群のほとんどの症例の原因です。

## 研究分野

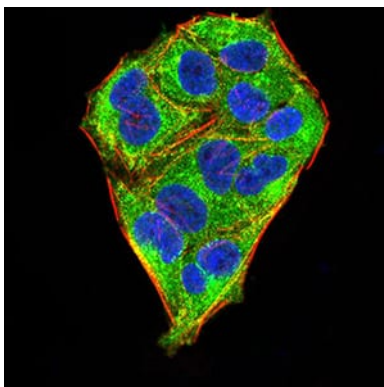
## 画像データ



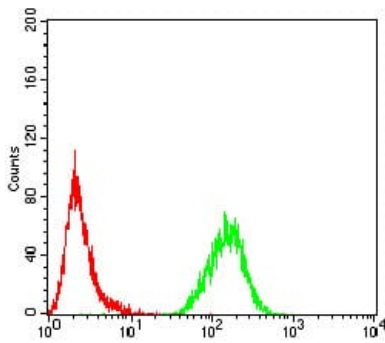
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



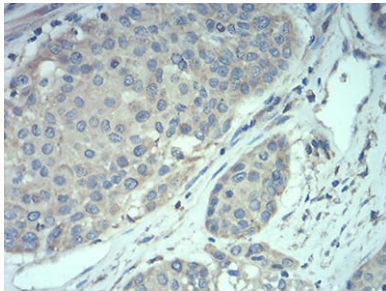
A431 (1) および MCF-7 (2) 細胞溶解物に対する MECP2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



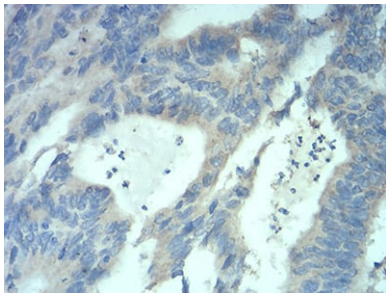
MECP2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



MECP2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による MECP2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による MECP2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。